

臨床心理学専攻(専門職学位課程)

2025年度入学者選抜問題(専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I. 次の問題1から問題20までの設問を読み、解答しなさい。

問題1

コンサルテーションについての次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① コンサルタントは、コンサルティに替わって、コンサルティの担当するクライアントの支援を行う。
- ② 領域が異なる専門家チームが、問題への対応を話し合うことは、コンサルテーションではない。
- ③ コンサルティは、コンサルタントの従属的な位置づけの存在である。
- ④ コンサルティは、コンサルタントからの助言を実行しなくてもよい。
- ⑤ コンサルタントは、コンサルティの心理的支援を担う。

問題2

労働安全衛生法に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 労働安全衛生法は、事業者が果たすべき安全配慮義務について規定している。
- ② 労働安全衛生法は、労働者を雇用するすべての企業に対し、就業規則の作成を義務づけている。
- ③ 事業者の実施する健康診断を労働者が受けるかどうかは任意の判断である。
- ④ 50人以上の事業場においては、労働者に対してストレスチェックを1年に1回行わなければならない。
- ⑤ 事業者が労働者に対して、医師による健康診断を実施することは努力義務である。

問題3

Bandura, A. の社会的学習理論に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 観察学習は、適切な強化があつてはじめて成立する。
- ② モデリングには、ライブモデリングはあるが、象徴モデリングは存在しない。
- ③ 社会的学習理論では、ある結果を生み出すのに必要な行動を上手に行うことができるという確信を意味する結果予期が重視される。
- ④ セルフエフィカシーの要因は、大別すると、遂行行動の達成、代理的経験、他者教示、情動的喚起である。
- ⑤ 相互決定主義とは、個人、行動、環境が相互に影響し合うという考え方である。

問題4

オペラント条件づけに関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 中枢神経系が関与する随意反応にのみ適用される。
- ② 強化スケジュールには連続強化法と間欠強化法がある。
- ③ 報酬訓練、回避訓練、弁別訓練などの形式がある。
- ④ 弁別刺激は、あるオペラントの出現に先行（同伴）する刺激で、それが提示されるとオペラントの出現頻度が増大する。
- ⑤ 負の強化とは、あるオペラント行動に続いて嫌悪刺激を呈示する操作で、そのオペラント行動を減少させる。

問題5

精神分析とそれに関連する人物の組み合わせの中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 移行対象 —— Freud, A.
- ② 発達ライン —— Winnicott, D. W.
- ③ 抑うつポジション —— Kohut, H.
- ④ 関与しながらの観察 —— Sullivan, H. S.
- ⑤ 自己対象転移 —— Klein, M.

問題6

プレイセラピー（遊戯療法）に関する次の記述の中から、最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① プレイセラピーでは、子どものストレス発散が中心となる。
- ② プレイセラピーは小学生までが対象となり、中学生では行わない。
- ③ 子どもがおもちゃを意図的に壊す場合、セラピストは明確に制限する。
- ④ 子どもがセラピストを変えてほしいと言った場合、即座に変えることが望ましい。
- ⑤ プレイセラピーを行う部屋を、子どもの希望に応じて毎回変更する。

問題7

ロールシャッハ・テストに関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. ロールシャッハ・テストで使用する図版は、被検査者や検査目的に応じて提示順序を変えることはない。
- B. ロールシャッハ・テストの図版は自由に見てもらって構わないため、図版の持ち方は制限される。
- C. ロールシャッハ・テストの解釈においては職業を考慮する場合がある。
- D. ロールシャッハ・テストの解釈においては、図版の特徴を踏まえた継起分析が最も重視される。

- ① A C
- ② A D
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題8

多くの人がいると、一人の時には選択するはずの行動を選択しなくなる傾向を指す概念として、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 集合的無知
- ② 集団圧力
- ③ 集団極性化
- ④ 傍観者効果
- ⑤ 没個性化

問題9

内田クレペリン精神作業検査に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 内田クレペリン精神作業検査では、知能指数や精神構造の特徴を判定することができる。
- ② 定型曲線では、作業量は後半の1分目が最大になり、これを初頭努力という。
- ③ ランダムに並んだ1桁の数字の連続加算を行い、右端まで加算したら下の行に移行する。
- ④ 加算作業は1行について1分間実施するが、前半15分間行い、10分間休憩し、後半15分間行われる。
- ⑤ 定型曲線の特徴としては、初頭努力、終末努力、休憩効果がある。

問題10

自閉スペクトラム症の特徴に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 同じ物、事柄、やり方への固執がある。
- B. 汚言症が頻繁に確認される。
- C. 非言語的なコミュニケーションの使用が困難である。
- D. 頻回に衣服を着替えたがる。

- ① A B
- ② A C
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題11

脳機能の局在に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 運動言語野は前頭葉と側頭葉にまたがる。
- ② 一次運動野は前頭葉の中心前回にある。
- ③ 一次視覚野は頭頂葉にある。
- ④ 一次体性感覚野は後頭葉の中心後回にある。
- ⑤ 一次聴覚野は後頭葉にある。

問題12

60歳の男性A、交通事故で頭部外傷を受傷し、前頭葉の脳挫傷と診断された。今後Aに認められる可能性の高い症状についての次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 実行機能の障害
- B. 易怒性の亢進
- C. 半側空間無視
- D. 言語理解の低下

- ① A B
- ② A C
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題13

Kübler-Ross, E. が提唱した、死の受容の5段階モデルについて、その第3段階にあたるものとして、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 否認
- ② 抑うつ
- ③ 受容
- ④ 取り引き
- ⑤ 怒り

問題14

エイジング・パラドクスに関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① エイジング・パラドクスとは、高齢期よりも青年期のほうが、相対的に適応度が高いことをいう。
- ② エイジング・パラドクスとは、高齢期においても幸福感や心理的安定感が維持される現象のことである。
- ③ エイジング・パラドクスとは、高齢になるほど身体的健康が促進される現象のことである。
- ④ エイジング・パラドクスとは、高齢期における超越的な世界観の変化のことをいう。
- ⑤ エイジング・パラドクスとは、高齢になるほど知的能力が高まる現象のことである。

問題15

次の検査の中から、ASDの診断補助として用いられる検査として最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① CAARS
- ② CAADID
- ③ ADOS-2
- ④ CPT
- ⑤ DN-CAS

問題16

TEG3に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 交流分析理論を基に作成されている。
- ② CPとは批判的な親であり、責任感や義務感が強い、規則を守るなどの側面が示唆される。
- ③ NPは養育的な親であり、父性的なイメージであり、厳格的な性格傾向を示す。
- ④ Aは大人の自我状態であり、冷静に分析する側面などを示す。
- ⑤ 質問の回答結果から、エゴグラムを作成することができる。

問題17

精神保健福祉法に規定されている入院形態についての次の記述のうち、誤っているものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 任意入院とは、患者本人の同意に基づく入院である。
- B. 措置入院とは、自傷他害の恐れはないが、患者の同意を必要としない、非自発的入院である。
- C. 医療保護入院とは、自傷他害の恐れがあり、患者の同意を必要としない、非自発的入院である。
- D. 応急入院とは、患者の同意を必要としない、非自発的入院であり、指定病院のみ受け入れが可能である。

- ① A B
- ② A C
- ③ A D
- ④ B C
- ⑤ B D

問題18

2013年に成立した「いじめ防止対策推進法」に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① いじめは、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利を侵害し、その心身の健全な成長や人格形成に重大な影響を与えるものとしている。
- ② いじめは、いじめを受けた児童等の生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものとしている。
- ③ 発信者が匿名であるインターネットを通じて行われるいじめについては、扱わない。
- ④ いじめの早期発見のため、児童に対して定期的に調査等を行うことが定められている。
- ⑤ 保護者に自身の子どもがいじめを行わないよう、規範意識を教育するよう求めている。

問題19

レスポネント条件づけに基づく次の技法の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 系統的脱感作法
- ② 内部感覚エクスポージャー
- ③ 曝露反応妨害法
- ④ 制止学習アプローチ
- ⑤ シェイピング

問題 20

次の代表的な集団療法についてのアプローチ・用語と、それに関連する人物の組み合わせの中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① Tグループ —— Lewin, K.
- ② 集団精神療法の治療要因 —— Burlingame, G. M.
- ③ 心理劇 —— Rogers, C.
- ④ 集団精神療法の治療構造 —— Yalom, I. D.
- ⑤ エンカウンター・グループ —— Moreno, J. L.

II. 次の専門用語について説明しなさい。

- (1) デイリーハッスル
- (2) ビッグファイブ理論 (BIG FIVE)

